



# アベイラビリティとインスタントメッセージの設定

- [アベイラビリティとインスタントメッセージの概要](#) (1 ページ)
- [アベイラビリティとインスタントメッセージの前提条件](#) (2 ページ)
- [アベイラビリティとインスタントメッセージのタスクフロー](#) (3 ページ)
- [可用性およびインスタントメッセージングの相互作用および制限](#) (5 ページ)

## アベイラビリティとインスタントメッセージの概要

IM and Presence Service を使用すると、ユーザは自分の在席ステータスを連絡先と共有できます。

ポイントツーポイント インスタント メッセージは、一度に 2 人のユーザ間のリアルタイム会話をサポートします。IM and Presence Service は、送信者から受信者へのユーザ間のメッセージを直接交換します。ポイントツーポイントのインスタントメッセージを交換するには、ユーザはインスタントメッセージクライアントでオンラインになっている必要があります。

インスタントメッセージング機能は次のとおりです。

### インスタントメッセージの分岐

複数のインスタントメッセージクライアントにログインしている連絡先にユーザがインスタントメッセージを送信すると、IM and Presence サービスは各クライアントにインスタントメッセージを配信します。IM and Presence Service は、連絡先が応答するまでインスタントメッセージを各クライアントに分岐し続けます。連絡先が応答すると、IM and Presence Service は連絡先が応答したクライアントのみにインスタントメッセージを配信します。

### オフライン インスタントメッセージ

ログインしていない連絡先（オフライン）にユーザがインスタントメッセージを送信すると、IM and Presence サービスはそのインスタントメッセージを保存し、オフライン連絡先が自分のインスタントメッセージクライアントにサインインした後にそれを配信します。

### インスタントメッセージのブロードキャスト

ユーザが同時に複数の連絡先にインスタントメッセージを送信することを可能にする機能です。たとえば、ユーザは大規模な連絡先グループに通知を送信できます。

すべてのインスタントメッセージクライアントがブロードキャストをサポートしているわけではないことに留意してください。

### 連絡先リストの最大サイズ

ユーザの連絡先リストの最大サイズを設定します。これはユーザが連絡先リストに追加できる連絡先の数です。この設定は、Cisco Jabber クライアント アプリケーションとサードパーティ クライアント アプリケーションの連絡先リストに適用されます。

連絡先の最大数に到達したユーザは、連絡先リストに新しい連絡先を追加できず、他のユーザもそのユーザを連絡先として追加できません。ユーザが連絡先リストの最大サイズに近く、最大数を超える連絡先を連絡先リストに追加すると、IM and Presence Service は超過した連絡先を追加しません。たとえば、IM and Presence Service の連絡先リストの最大サイズが 200 であるとします。ユーザに 195 件の連絡先があり、ユーザが 6 件の新しい連絡先をリストに追加しようとする、IM and Presence Service は 5 件の連絡先を追加し、6 件目の連絡先を追加しません。



**ヒント** 連絡先リストのサイズが上限に到達しているユーザがいると、**Cisco Unified CM IM and Presence の管理**の [システム トラブルシュータ (System Troubleshooter) ] に表示されます。

## アベイラビリティとインスタントメッセージの前提条件

SIP 間のインスタントメッセージでは、次のサービスが IM and Presence Service で実行されている必要があります。

- Cisco SIP Proxy
- Cisco Presence Engine
- Cisco XCP Router

SIP と XMPP 間のインスタントメッセージでは、次のサービスが IM and Presence Service で実行されている必要があります。

- Cisco SIP Proxy
- Cisco Presence Engine
- Cisco XCP Router
- Cisco XCP Text Conference Manager

# アベイラビリティとインスタントメッセージのタスクフロー

IM and Presence Service のアベイラビリティとインスタントメッセージを設定するために次のタスクを実行します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">プレゼンス共有の設定 (3 ページ)</a>	この手順を使用して、プレゼンスと IM のアベイラビリティ共有のクラスタ全体の設定を構成します。プレゼンス共有を使用すると、ユーザは互いの IM の可用性ステータスを表示できます。
ステップ 2	<a href="#">インスタントメッセージを有効にする (4 ページ)</a>	ユーザがインスタントメッセージを交換できるようにシステムを設定します。

## プレゼンス共有の設定

この手順を使用して、プレゼンスと IM のアベイラビリティ共有のクラスタ全体の設定を構成します。プレゼンス共有を使用すると、ユーザは互いの IM の可用性ステータスを表示できます。



(注) 可用性の共有が無効になっている場合

- ユーザはクライアントアプリケーションで自分の可用性ステータスを表示できますが、他のユーザのステータスはグレー表示されます。
- ユーザがチャットルームに入ると、自身の可用性ステータスは**未知**として表示されます。

## 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] で、[プレゼンス (Presence)] > [設定 (Settings)] > [標準設定 (Standard Configuration)] を選択します。
- ステップ 2** クラスタ全体のプレゼンス共有を有効にするには、**可用性共有を有効にする**チェックボックスをチェックします。

(注) 個々の Cisco Jabber ユーザは、Cisco Jabber クライアント内でポリシー設定を再設定することによって、自分の Jabber クライアントに対してこの設定を有効または無効にすることができます。

**ステップ 3** 他のユーザの承認を必要とせずユーザが他のユーザのプレゼンスを表示できるようにする場合は、承認を求められることなく、ユーザが他のユーザの在席状況を表示できるようにするチェックボックスをチェックします。それ以外の場合、すべてのプレゼンス要求は他のユーザによって承認されなければなりません。

(注) 個々のエンドユーザは、Cisco Jabber クライアント内でポリシー設定を再設定することによってこの設定を上書きできます。

**ステップ 4** 最大連絡先リストサイズそして最大ウォッチャー（ユーザあたり）設定の最大値を設定します。最大値を使いたくない場合は、それぞれの制限なしチェックボックスをチェックします。

**ステップ 5** これはオプションです。連絡先リストに登録されていない他のユーザのプレゼンスステータスを Cisco Jabber ユーザが一時的に登録できるようにする場合は、アドホックプレゼンス購読を有効にするチェックボックスをオンにして、アドホックプレゼンスの追加設定を行います。

**ステップ 6** プレゼンス設定ウィンドウの追加の設定を完了します。フィールドとその設定のヘルプについては、オンラインヘルプを参照してください。

**ステップ 7** [保存 (Save) ] をクリックします。

**ステップ 8** Cisco XCP Router および Cisco Presence Engine サービスを再起動します：

- a) Cisco Unified IM and Presence Serviceability にログインして、[ツール (Tools) ] > [コントロールセンター - 機能サービス (Control Center - Feature Services) ] を選択します。
- b) Cisco Presence Engine サービスを選択して[再起動 (Restart) ] をクリックします。
- c) [ツール (Tools) ] > [コントロールセンター - ネットワーク サービス (Control Center - Network Services) ] を選択します。
- d) [Cisco XCP Router] サービスを選択し、[リスタート (Restart) ] をクリックします。

(注) 編集したフィールドによっては、サービスを再起動する必要はありません。編集したフィールドについては、オンラインヘルプを参照してください。

---

次のタスク

[インスタントメッセージを有効にする \(4 ページ\)](#)

## インスタントメッセージを有効にする

ユーザがインスタントメッセージを交換できるようにシステムを設定します。

始める前に

[プレゼンス共有の設定 \(3 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence Administration で、[メッセージング (Messaging)] > [設定 (Settings)] を選択します。

ステップ 2 [Enable instant messaging] チェックボックスをオンにします。

ステップ 3 展開のニーズに合ったチェックボックスオプションをオンにします。フィールドの説明については、オンライン ヘルプを参照してください。

- オフライン中の相手へのインスタントメッセージの送信を無効にする
- クライアントでのインスタントメッセージ履歴のログ記録を可能にする (サポートされているクライアントのみ) (Allow clients to log instant message history (on supported clients only))
- インスタントメッセージでの切り取り/貼り付けを可能にする (Allow cut & paste in instant messages)

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

## 可用性およびインスタントメッセージングの相互作用および制限

機能	制約事項
可用性の共有	この設定をオフにすると、ユーザは自分の可用性ステータスだけを表示できます。可用性情報は、クラスター内の他のユーザとは共有されません。さらに、クラスターの外部から受け取った可用性情報も共有されません。

